

企画集会 T01

# モニタリングサイト 1000 の 10 年の成果から分かったこと

～大規模長期生態系モニタリングの継続と取得データの活用を進めるためには～

3 月 20 日 9:00-11:00 A 会場

企画者：中山隆治（環境省自然環境局生物多様性センター）、大規模長期生態学専門委員会  
司会：日浦 勉（北海道大学）



モニタリングサイト 1000 は、環境省生物多様性センターが平成 15 年度に開始した国内最大級の長期生態系モニタリング事業です。事業開始から 10 年が経過したことから、今年度、生態系毎のとりまとめ報告書を作成・公表しました。各生態系の 10 年の調査成果からは、気候変動による影響や外来種の分布拡大等いくつかの変化傾向を把握できており、今後は愛知目標の進捗状況評価等様々な分野での活用が期待されています。

本集会では、10 年間の成果や活用事例を紹介するとともに、大規模長期生態学専門委員会の趣旨も踏まえ、今後の長期生態系モニタリングの進め方やモニタリングにより得られたデータの活用について議論します。

[T01-1] モニタリングサイト 1000 の概要と調査成果の公開

佐藤直人（環境省自然環境局生物多様性センター）

[T01-2] 研究者が主体となった森林・草原調査で得られた成果とその学術利用

日高 周（自然環境研究センター）

[T01-3] 市民と築き上げた里地調査の全国観測ネットワークとその成果

後藤なな（日本自然保護協会）

[T01-4] 行政施策における活用を目的としたガンカモ、シギ調査の成果のとりまとめ

\*植田睦之、神山和夫、守屋年史（バードリサーチ）

[T01-5] 沿岸域調査で検出された東日本大震災による突発的な変化

横井謙一（日本国際湿地保全連合）

コメンテーター：中静 透（東北大学）

※企画集会の参加には、第 62 回日本生態学会大会への参加申し込みが必要となりますのでご注意ください。